

モデルルーム

何回かレポートでも紹介してきた、名古屋市瑞穂区の閑静な住宅地に 15 階建て高層マンションが建設されつつある。地域住民の抗議が続くなか、住民を威圧するように、巨大な建物が空高く伸びている。

写真のように建設現場に「モデルルーム公開中」との看板があり、鍼灸院に向かう前、地下鉄妙音通駅から歩いた。真っすぐに行ったが、モデルルームらしきものは見当たらなかった。鍼灸院で話したら、もうすこし先のようなだった。



その帰り、もう一度「チャレンジ」して見つけた。大きな通りから一歩なかに入っていて、見つけられなかったようだ。さっそく写真に撮った。時間もないので、ケースにあったチラシを手にして立ち去った。

チラシを見て、まず目にしたのは「子育て環境と利便性を享受する街」という大きな見出し。マンション近くのストアやスーパー、保育園、幼稚園、小学校が写真つきで、徒歩何分と記してある。



マンションから徒歩1分のすずらん幼稚園。鍼灸院に行くとき、よく通るところだ。



いつも園児たちの元気な声が聞こえてくる。でも、この小さな幼稚園はマンションのすぐ真南に位置する。日

照・風害をはじめ、環境への影響はきわめて大きなものがある。幼稚園だけではなく、周辺住民の子育て環境は、マンションによってむしろ悪化してしまうのではないか。

このチラシを見て、もうひとつ疑問に感じたことがある。マンション建設が着工され、こんな地域住民無視のやり方に腹を立て初めた頃のホームページには、次のように書かれていた。「静穏の丘。洗練の景。静穏な空気に抱かれた瑞穂区の丘。…… 計画地は、南に視界が開けたロケーション。ゆるやかな南雛壇のため、日当たりも良く快適に暮らせませます」

静穏な丘に 15 階もの高層マンションが建つことによって、この地域の住環境はどうなるのか。モデルルームではなく、建設現場に行けば、すぐに分かるであろう。

(2017 年 9 月 10 日)